

度調査等大きなコストを要する調査からの評価が必要であったが、診療報酬明細に係る診療密度分析で多くのことが明らかとなる可能性が示されたと言える。

以前から、ICU の機能は施設間の格差が大きく、広く包括されている特定集中治療室入院管理料が全く ICU の機能を反映していないのは問題であるとされてきた。今回の分析でも、診療密度の観点から見てそれぞれの医療機関の ICU は、診療の密度が低く、在室日数が長い、一般病棟とあまり機能的に違いがないとも考えられるものから、重症例の治療に重点的に対応していると認められる高密度の治療を実施しているもの、おもに術後のモニタリングを中心とした機能を有していると予想されるものなど、非常に多様な実態があることが推定された。これらの機能を適切に評価し、診療報酬あるいは医療機関機能評価係数などに反映させる方法を検討する必要がある。

一方、既存研究で多く用いられている ICU 患者重症度評価指標である Apache と医療機関特性や診療密度との関連が認められなかったが、これは、利用した Apache 計算値に正確性が欠ける部分がある可能性や対象医療機関が非常に限られて偏っていた可能性が考えられる。今後、対象医療機関を増やした分析が必要と考えられる。

将来的には、診療密度、入室患者ケースミックス、コスト、重症度等を組み合わせて、機能の違いの大きい ICU を適切に評価し、必要なところに必要な医療資源が配分される仕組みを構築していくことが、わが国の超急性期医療の質の確保に必要であろう。

本研究では、急性血液浄化療法などの特定の診療行為の発生パターンとその変化も診療プロセス分析によって明らかとなることが示された。包括評価の仕組みによって診療行為に変化が及ぶ可能性はあるが、本分析ではその変化はわずかであった。今後、特定の高額薬剤、医療材料の使用状況をこのような方法を用いてモニタリングし、それらの適正使用と、適正な医療費支払い方法の検討を続ける必要がある。

さらに本研究では、診療プロセス分析から地域医療資源必要量の推計へ結びつける手法とその意義も明らかとなった。急性期の標準的な診療プロセスが DPC 調査データ等から明らかになっていくと、この手法の応用方法はさらに拡大していくことは明らかである。設備のみならず、人員、薬剤、材料、医療費等様々な形で急性期医療資源の必要量の推計、その充足状況の評価、地域格差の評価、地域保健医療計画や地域医療費適正化計画等への反映など、多くの活用が期待される。

特に超急性期医療の中心である ICU 医療は、わが国では、その質の評価とともに、量的な充足もまだ途上であることが明らかとなった。診療報酬の加算等で間接的に整備が進められてきた ICU 医療であるが、その整備に地域差の大きさが3倍を超える事実は、許容範囲を超えていると考えられる。地域保健医療計画上も明確な整備基準が示されておらず、あくまで医療機関の自主性と医療保険からの補填のみによっていることに大きな問題があると考えられる。今後は、地域 ICU 整備基準の設定によって超急性期医療の質を確保し、地域差を是正すること、ICU 整備状況の差異が医療の質に与える影響を評価することが急務である。

この手法の応用として、急性期医療機関における ICU 病床整備基準数を設定することができる。急性期病院では、その退院患者数に応じて、標準的な ICU 必要数を簡単に推計することができる。したがって、これらの基準値と比較した医療機関 ICU 整備充足率を医療機関の機能評価の一つの指標とすることもできる。ICU の整備は間接的に超急性期医療の質の確保につながっていると考えれば、ICU の整備を医療機関の機能評価に組み込むことには十分な妥当性があると考えられる。ICU 病床整備基準値を下回っている医療機関では、機能評価係数を減算することによって、ICU の閉鎖によって高い看護基準確保のための人員を確保するような、矛盾した行動をとる医療機関への警告とすることもできよう。

#### E. 結論

ICU 機能は施設規模等によらずに非常に多様であるが、診療行為密度等に基づく機能の類型化により、ICU 機能を評価できる可能性が示された。また、DPC 制度下で急性血液浄化療法などの超急性期医療への適正な医療資源配分を確保するために、適正な治療を継続することの重要性が示された。さらに、地域における超急性期医療の必要の推計手法を示し、ICU 等の超急性期医療への資源配分の地域差が非常に大きいことを明らかとした。

#### F. 健康危険情報

とくになし

#### G. 研究発表

とくになし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

とくになし



平成20年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）分担研究報告書

# 包括払い方式が医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究

(H19-政策-指定-001)

別冊1

DPC別原価推計結果

(施設類型別)

平成21年3月

研究分担者 今中 雄一

研究代表者 松田 晋哉

「包括払い方式が医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究」  
平成 20 年度コスト調査の概要

1. 調査客体数

表 1-1 調査客体数内訳

病院		データ提出病院数	最終分析対象病院
特定機能病院 (A)	国大協	1	1
	医大協	29	29
	公立	0	0
	国立	0	0
	その他	1	1
	小計	31	31
特定機能病院以外 (B)	国立(独立行政法人含む)	4	4
	公立	12	11
	公的	9	9
	社会保険関係	11	11
	医療法人	37	37
	個人	1	1
	その他の法人	24	21
	小計	98	94
(A)+(B)	合計	129	125

○最終分析対象が 4 施設対象外になった原因

- ・ 外来 E ファイル未提出 2 施設
- ・ D ファイル未提出 1 施設
- ・ エラーチェック後未提出 1 施設

2. データの収集から集計

概要

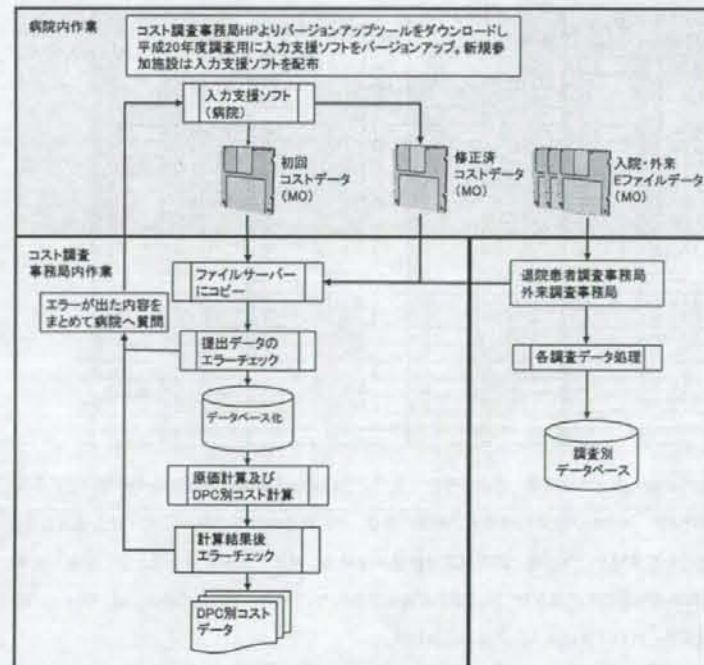


図 2-1 DPC別コスト集計までの流れ

平成 19 年度と同様、本調査では収集したコストデータにエラーチェックを行った後、必要であれば再提出をしてもらって、参加病院の精査済みコストデータをデータベース化した。本データに加えて、入院 E ファイル及び外来 E ファイルは退院患者調査及び外来調査で収集したデータを使用して DPC 別コスト計算を行った。(図 2-1 参考)

入力支援ソフト

平成 20 年度調査は、平成 19 年度入力支援ソフトを一部修正して継続利用した。従って平成 19 年度参加施設に対してはバージョンアップツールを用意し、新規参加施設に対しては平成 20 年度用入力支援ソフトを提供した。

表 2-1 平成20年度入力支援ソフトの変更点

項目	平成19年度入力支援ソフト	平成20年度入力支援ソフト	平成19年度入力支援ソフト	平成20年度入力支援ソフト	平成20年度調査
病院情報入力(施設コード、施設名)	コストデータ入力範囲の明文化(はじめにお読みくださいに追加)	変更無し	各病院に配布したため、これらの情報は既に登録済み(固有のパスワードでのみ使用可能)	各病院が入力	-
部署登録	変更無し	変更無し	月ごとに部署を登録(診療コードの誤入力及び診療科・診療部門の転移番号の誤入力を避けるためにチェック機能を追加)	一括の入力で各調査業に反映	各調査業ごとに設定
データ区分別収入登録	変更無し	変更無し	保険対象外に対して診療区分が対応していない場合データコードを設定	調査業に、調査業Xを調査業Yに作成し、正確に計算できる方法を確立	調査業(入院・外来、保険・保険外比率)調査業X(診療科・診療部門の入院・外比率)
記録基準データ登録	変更無し	変更無し	病床数、床面積及び延べ患者数を入力	一枚のシートにまとめて入力	調査業H(延べ患者数)調査業I(床面積)調査業J(病床数)
勤務実績登録	変更無し	変更無し	医師及び医師以外の職員数登録(医師及び医師以外の職員数登録)	調査業Aと調査業Cをまとめることでデータ入力を容易化	調査業A(診療科別医師・歯科医師勤務比率)調査業B(医師・歯科医師以外の所属職員数)調査業C(業務実務科、医師・歯科医師その他職員数)
コストデータ登録	変更無し	変更無し	固定資産税、控除対象外消費税等負担額の科目を追加	年間コストデータ登録・月間コストデータ登録	調査業D(材料費)調査業E(賃借料)調査業F(委託費)調査業G(減価償却費)調査業H(繰上計算)
最終状況確認	変更無し	変更無し	各データ入力が入力完了しているか集計値を参考に確認可能	-	-

平成 20 年度調査はコストデータの入力範囲を明文化することにより、DPC 別コスト集計の精度向上を行った。具体的には以下のとおりである。

- 介護保険事業に係るコストの入力は行わないこと。
- 複数の施設を運営している場合に、一つの会計に複数施設分がまとめて計上されている場合は調査対象となる医療施設に相当する分を適切に按分して賦課すること。
- 救急部門がある病院では、救急部署を適切に設定すること。

データ収集方法

平成 20 年度提出用出力データ (MDB ファイル) は、媒体 (MO ディスク) の郵送による収集方式を採用した。なお、出力データには入力支援ソフトの機能により解説困難なパスワードを自動設定することで、郵送過程でのセキュリティ上の安全性を確保した。

エラーチェック及び集計

収集したデータは、昨年度提出データも参照して論理チェック及び統計的チェックを行った。さらに、部署別レベルのコストチェックを行うことにより詳細かつ確実にエラーデ



ータの抽出を行った。

エラーチェックに該当した場合は、当該病院に対して質問状をメールで送り、データの妥当性を確認していただいた。その際、データの修正が必要な場合は、病院にてデータを修正し、質問状の回答と共に修正後のデータを再提出してもらった。

このように、データクリーニングを繰り返すことで、収集するデータの精度向上を図り、これらの過程を経て必要なデータを分析用にデータベース化した後に、原価計算・DPC別コスト計算を行った。

#### 追加調査票の概要

DPC別コスト集計結果の傾向や特性を検討するため、施設全体の情報についても「追加調査票」及び「損益計算書」により以下のデータを収集した。内容は以下のとおりである。

#### ○ 追加調査票

- ・ 病床の状況
- ・ 処方の状況
- ・ 承認等の状況
- ・ 給与費合計
- ・ 救急患者数

#### ○ 損益計算書（7月分）

（新病院会計準則に準ずる）

- ・ 医業収益
- ・ 医業費用
- ・ 医業外収益
- ・ 医業外費用
- ・ 臨時収益
- ・ 臨時費用

表 2-2 追加調査票提出状況(最終分析対象病院)

病院	追加調査票	損益計算書
特定機能病院 (A)	国大協	1
	医大協	-
	公立	0
	国立	0
	その他	1
	小計	2
特定機能病院以外(B)	国立(独立行政法人含む)	4
	公立	11
	公的	9
	社会保険関係	11
	医療法人	37
	個人	1
	その他の法人	20
	小計	93
(A)+(B)	合計	95

### 3. 集計結果

#### 損益計算書の結果

「追加調査票」より、病床規模別、院外処方別及び地域医療支援別に、また「様式3」より開設者別に分類した。そしてこれらの分類別に「損益計算書」の医業収益、医業費用、医業外収益及び医業外費用 100床あたりの金額、そして医業収益 100に対する構成比率を算出し、表 3-1-1 から表 3-1-5 の結果を得た（集計対象は特定機能病院以外）。

表3-1-1 全体損益計算書(7月分)100床あたり集計結果

	全体	
	金額(円)	構成比率(%)
医業収益合計	187,351,007	100.0
入院収益	131,332,415	70.1
外来収益	47,354,548	25.3
その他の診療収益	8,664,044	4.6
医業費用合計	185,966,469	99.3
給与費	91,999,665	49.1
材料費	50,332,971	26.9
委託費	11,837,782	6.3
設備関係費	19,449,526	10.4
研究研修費	750,375	0.4
経費	8,677,099	4.6
本部費	1,167,089	0.6
控除対象外消費税等負担額	1,751,962	0.9
医業収支差額	1,384,538	0.7
医業外収益	6,512,509	3.5
医業外費用	4,212,305	2.2
臨時収益	587,509	0.3
臨時費用	1,024,674	0.5
負担金等	487,461	0.3
総収支差額	2,760,115	1.5
施設数	90	
平均許可病床数	434	

表3-1-2 開設者別損益計算書(7月分)100床あたり集計結果

	国立・公立		公的・社会保険関係		医療法人		個人・その他の法人	
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)
医業収益合計	172,269,616	100.0	200,866,250	100.0	190,375,181	100.0	183,471,690	100.0
入院収益	125,028,947	72.6	133,729,508	66.6	138,665,209	72.8	124,895,523	68.1
外来収益	43,683,436	25.4	54,074,533	26.9	42,258,872	22.2	50,781,817	27.7
その他の診療収益	3,557,232	2.1	13,062,209	6.5	9,451,099	5.0	7,794,350	4.2
医業費用合計	175,761,865	102.0	201,097,316	100.1	185,154,060	97.3	181,876,899	99.1
給与費	83,296,198	48.4	102,160,201	50.9	91,771,606	48.2	90,232,727	48.2
材料費	51,617,178	30.0	57,376,851	28.6	45,249,697	23.8	49,791,678	27.1
委託費	10,332,610	6.0	12,289,804	6.1	11,912,877	6.3	12,483,955	6.8
設備関係費	21,256,976	12.3	17,836,957	8.9	20,240,719	10.6	18,474,999	10.1
研究研修費	560,617	0.3	812,078	0.4	889,760	0.5	668,456	0.4
経費	6,100,734	3.5	9,061,280	4.5	10,459,113	5.5	8,055,091	4.4
本部費	1,606,821	0.9	563,339	0.3	1,537,665	0.8	885,911	0.5
控除対象外消費税等負担額	988,732	0.6	996,806	0.5	3,092,622	1.6	1,286,082	0.7
医業収支差額	-3,492,250	-2.0	-231,066	-0.1	5,221,120	2.7	1,594,791	0.9
医業外収益	18,256,613	10.6	4,115,746	2.0	3,430,590	1.8	3,624,955	2.0
医業外費用	8,139,048	4.7	3,187,863	1.6	3,506,356	1.8	3,030,547	1.7
臨時収益	744,331	0.4	319,254	0.2	786,713	0.4	448,294	0.2
臨時費用	551,973	0.3	427,780	0.2	2,103,568	1.1	535,555	0.3
負担金等	542,332	0.3	32,502	0.0	978,802	0.5	217,473	0.1
総収支差額	6,275,341	3.6	555,790	0.3	2,849,698	1.5	1,884,464	1.0
施設数	15		20		36		19	
平均許可病床数	506		428		353		538	

※「国立・公立」とは、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人及び独立行政法人労働者健康福祉機構が開設する病院、ナショナルセンター、連信病院、その他の独立行政法人、都道府県立、市町村立病院を含む。「公的・社会保険関係」とは、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会、全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、国民健康保険組合を含む。「個人・その他の法人」は、個人と「国立・公立」、「公的・社会保険関係」及び「医療法人」に該当しない法人。



表3-1-3 病床規模別増益計算書(7月分)100床あたり集計結果

	20-199床		200-399床		400床以上	
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)
医療収益合計	237,103,024	100.0	189,322,682	100.0	184,480,815	100.0
入院収益	153,240,454	64.7	132,695,538	70.1	129,874,091	70.4
外来収益	60,867,247	25.7	47,847,595	25.3	46,591,320	25.3
その他の診療収益	22,895,324	9.7	8,779,549	4.6	8,015,404	4.3
医療費用合計	233,414,729	98.4	187,359,798	99.0	183,416,365	99.4
給与費	106,424,398	44.9	92,498,403	48.9	91,195,526	49.4
材料費	81,207,643	25.8	49,509,537	26.2	50,187,706	27.2
委託費	17,476,332	7.4	11,836,710	6.3	11,598,785	6.3
設備関係費	27,494,731	11.6	19,674,800	10.4	19,021,356	10.3
研究研修費	743,459	0.3	942,172	0.5	678,956	0.4
経費	13,573,067	5.7	9,329,126	4.9	8,218,631	4.5
本部費	4,393,015	1.9	1,080,401	0.6	1,063,435	0.6
控除対象外消費税等負担額	2,102,085	0.9	2,488,649	1.3	1,453,970	0.8
医療収支差額	3,688,295	1.6	1,962,884	1.0	1,064,450	0.6
医療外収益	3,167,005	1.3	5,046,925	2.7	7,217,814	3.9
医療外費用	5,403,930	2.3	3,394,767	1.8	4,475,909	2.4
臨時収益	337,861	0.1	1,307,887	0.7	321,251	0.2
臨時費用	1,815,156	0.8	1,442,185	0.8	830,651	0.5
負担金等	1,475,198	0.6	366,388	0.2	492,054	0.3
総収支差額	-1,501,122	-0.6	3,114,355	1.6	2,804,902	1.5
施設数	9		35		46	
平均許可病床数	129		301		595	

表3-1-4 院外処方率別増益計算書(7月分)100床あたり集計結果

	院外処方率50%以上		院外処方率50%未満	
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)
医療収益合計	184,383,441	100.0	197,029,329	100.0
入院収益	130,739,502	70.9	133,266,122	67.6
外来収益	45,924,972	24.9	52,016,921	26.4
その他の診療収益	7,718,968	4.2	11,746,287	6.0
医療費用合計	182,666,486	99.1	196,729,925	99.8
給与費	91,268,888	49.5	94,382,987	47.9
材料費	48,617,590	26.4	55,927,457	28.4
委託費	11,971,810	6.5	11,400,665	5.8
設備関係費	19,299,311	10.5	19,939,434	10.1
研究研修費	769,283	0.4	688,708	0.3
経費	8,175,193	4.4	10,314,001	5.2
本部費	1,325,889	0.7	649,163	0.3
控除対象外消費税等負担額	1,238,522	0.7	3,426,479	1.7
医療収支差額	1,716,955	0.9	300,405	0.2
医療外収益	7,231,710	3.9	4,166,928	2.1
医療外費用	4,227,610	2.3	4,162,392	2.1
臨時収益	667,904	0.4	325,310	0.2
臨時費用	753,489	0.4	1,909,107	1.0
負担金等	483,918	0.3	499,018	0.3
総収支差額	4,151,553	2.3	-1,777,874	-0.9
施設数	71		19	
平均許可病床数	421		483	

表3-1-5 地域医療支援別増益計算書(7月分)100床あたり集計結果

	地域医療支援あり		地域医療支援なし	
	金額(円)	構成比率(%)	金額(円)	構成比率(%)
医療収益合計	192,643,748	100.0	182,325,714	100.0
入院収益	139,139,604	72.2	123,919,732	68.0
外来収益	44,420,741	23.1	50,140,106	27.5
その他の診療収益	9,083,403	4.7	8,265,876	4.5
医療費用合計	185,044,988	96.1	186,841,386	102.5
給与費	93,091,046	48.3	90,963,433	49.9
材料費	50,391,017	26.2	50,277,858	27.6
委託費	11,012,068	5.7	12,621,770	6.9
設備関係費	17,457,586	9.1	21,340,812	11.7
研究研修費	805,771	0.4	697,778	0.4
経費	8,502,104	4.4	8,843,252	4.9
本部費	1,753,449	0.9	610,358	0.3
控除対象外消費税等負担額	2,031,947	1.1	1,486,125	0.8
医療収支差額	7,598,760	3.9	-4,515,672	-2.5
医療外収益	7,102,040	3.7	5,952,767	3.3
医療外費用	4,426,842	2.3	4,008,610	2.2
臨時収益	505,138	0.3	665,718	0.4
臨時費用	1,268,952	0.7	792,739	0.4
負担金等	741,473	0.4	246,284	0.1
総収支差額	8,768,672	4.6	-2,944,821	-1.6
施設数	36		54	
平均許可病床数	529		371	

表 3-1-2 の開設者別の構成比率をみると、国立・公立の医療収支差額は-2.0%と医療法人の医療収支差額の 2.7%より-4.7%の低い結果を得た。表 3-1-3 の病床規模別の医療収支差額において、20-199 床は 1.6%、200-399 床は 1.0%そして 400 床以上では 0.6%と規模が大きくなるにつれ比率が低くなる傾向である。表 3-1-5 地域医療支援病院の承認有無別より、地域医療支援ありの医療収支差額における構成比率が 3.9%に対して地域医療支援なしの構成比率は-2.5%と 6.4%の差を生じている。特に医療収益に対する医療費用の構成比率が地域医療支援ありは 96.1%に対して地域利用支援なしは 102.5%と顕著な差がある。

### 平均給与の結果

常勤職員の職種を医師、看護師、医療技術員、事務員及び技能労務員に分け、2008 年 7 月の職種別給与支給額と、2007 年度の職種別賞与支給額の月額換算金額とを合算した数値を、職種別の人数によって除算して病院別に平均給与を算出した。そして病院平均値の中央値をもって職種別平均給与とした。表 3-2-1 から表 3-2-4 に施設分類別の平均給与値を示す。

表3-2-1 開設者別常勤職員の平均給与(賞与含)

開設者別	医師給	看護師給	医療技術員給	事務員給	技能労務員給	施設数
医療法人	1,211,607	400,206	384,495	370,125	290,931	37
個人・その他の法人	1,024,980	425,245	435,107	408,115	351,831	20
公的・社会保険関係	1,292,662	475,453	554,965	518,899	477,637	18
国立・公立	1,343,987	470,463	551,050	550,378	532,621	14

表3-2-2 病床規模別常勤職員の平均給与(賞与含)

病床別	医師給	看護師給	医療技術員給	事務員給	技能労務員給	施設数
20-199床	1,289,222	428,472	364,911	360,482	276,439	9
200-399床	1,211,607	400,206	411,154	375,413	329,816	33
400床以上	1,150,571	447,437	488,072	470,001	434,841	47

表3-2-3 院外処方別常勤職員の平均給与(賞与含)

院外処方別	医師給	看護師給	医療技術員給	事務員給	技能労務員給	施設数
院外処方率50%以上	1,217,288	428,557	447,931	452,421	364,987	70
院外処方率50%未満	1,090,272	435,263	429,925	392,602	391,352	19

表3-2-4 地域医療支援別常勤職員の平均給与(賞与含)

地域医療支援別	医師給	看護師給	医療技術員給	事務員給	技能労務員給	施設数
地域医療支援あり	1,194,006	424,603	422,030	380,571	343,649	36
地域医療支援なし	1,214,937	444,597	494,958	482,447	379,795	53

表 3-2-1 より開設者別常勤職員の平均給与を比較すると、医療法人と個人・その他の法人に対して公的・社会保険関係及び国立・公立が各職種とも高い傾向にある。医療法人に対する国立・公立の比率でみると、医師以外の職種で比率が大きく、国立・公立では医師以外の給与が相対的に高い傾向を示す。表 3-2-2 の病床規模別では、医療技術員、事務員及び技能労務員において病床規模が大きくなるにつれ平均給与が増加する傾向である。

### 救急患者数の結果

2008 年 7 月～10 月の期間に一次救急患者から三次救急患者の患者数より 100 床あたりの人数に換算した結果を分類別に表 3-3-1 から表 3-3-4 に示す。ここでいう一次救急患者とは入院の必要がない救急患者、二次患者とは一般病棟に入院した救急患者そして三次患者とは集中治療室への入院や緊急処置・手術を必要とした救急患者として定義をした。



表3-3-1 100床あたりの開設者別一次～三次救急患者数

開設者別	一次救急患者数(人)	二次救急患者数(人)	三次救急患者数(人)	施設数
医療法人	683	156	47	34
個人・その他の法人	954	147	41	20
公的・社会保険関係	519	181	34	20
国立・公立	350	166	16	13

※2008年7月から10月の4ヶ月間

表3-3-2 100床あたりの病床規模別一次～三次救急患者数

病床別	一次救急患者数(人)	二次救急患者数(人)	三次救急患者数(人)	施設数
20-199床	240	154	10	8
200-399床	615	173	33	32
400床以上	704	156	40	47

※2008年7月から10月の4ヶ月間

表3-3-3 100床あたりの院外処方別一次～三次救急患者数

院外処方別	一次救急患者数(人)	二次救急患者数(人)	三次救急患者数(人)	施設数
院外処方率50%以上	638	160	38	68
院外処方率50%未満	776	162	32	19

※2008年7月から10月の4ヶ月間

表3-3-4 100床あたりの地域医療支援別一次～三次救急患者数

地域医療支援別	一次救急患者数(人)	二次救急患者数(人)	三次救急患者数(人)	施設数
地域医療支援あり	828	200	34	34
地域医療支援なし	524	124	40	53

※2008年7月から10月の4ヶ月間

入院患者に該当する二次救急患者数と三次救急患者数に着目すると、医療法人の三次救急患者数100床あたり47人に対して国立・公立の100床あたり16人と約30人の差異を生じている。また、表3-3-2より三次救急患者数が病床規模の拡大につれて増加傾向にある。さらに、表3-3-4より地域医療支援ありの二次救急患者数が地域医療支援なしと比較すると約80人近く多いことから、これらの分類における救急体制の違いがわかる。

### 職員数集計結果

入力支援ソフトにより提出された常勤職員数及び非常勤職員数(実績を人数換算)を各分類別に集計し、100床あたりの平均値として表3-4-1から表3-4-4に示す。

表3-4-1 100床あたり開設者別職員数(7月)

開設者別	総数(人)	医師(人)	看護師(人)	医療技術員(人)	事務員(人)	技能労務員(人)	施設数
医療法人	178.2	23.4	83.3	31.3	24.9	15.2	37
個人・その他の法人	168.7	26.5	83.0	26.9	20.5	11.6	21
公的・社会保険関係	153.8	22.4	83.9	22.3	15.6	9.6	20
国立・公立	134.9	21.9	77.1	17.9	9.8	8.3	15

※「常勤」の職員人数+「非常勤」の換算人数(「非常勤」は実績値を集計)

表3-4-2 100床あたりの病床規模別職員数(7月)

病床別	総数(人)	医師(人)	看護師(人)	医療技術員(人)	事務員(人)	技能労務員(人)	施設数
20-199床	184.0	20.1	84.0	36.2	25.8	17.9	9
200-399床	171.8	22.0	86.5	28.5	21.4	13.4	35
400床以上	158.2	24.6	80.6	24.3	17.8	10.9	49

※「常勤」の職員人数+「非常勤」の換算人数(「非常勤」は実績値を集計)

表3-4-3 100床あたりの院外処方別職員数(7月)

院外処方別	総数(人)	医師(人)	看護師(人)	医療技術員(人)	事務員(人)	技能労務員(人)	施設数
院外処方率50%以上	161.8	23.9	83.0	24.6	19.0	11.4	73
院外処方率50%未満	164.2	23.4	79.8	29.4	18.7	12.9	20

※「常勤」の職員人数+「非常勤」の換算人数(「非常勤」は実績値を集計)

表3-4-4 100床あたりの地域医療支援別職員数(7月)

地域医療支援別	総数(人)	医師(人)	看護師(人)	医療技術員(人)	事務員(人)	技能労務員(人)	施設数
地域医療支援あり	171.8	24.8	86.6	27.4	21.1	12.0	37
地域医療支援なし	153.3	22.8	78.0	24.1	16.9	11.5	56

※「常勤」の職員人数+「非常勤」の換算人数(「非常勤」は実績値を集計)

表3-4-1より、開設者別の各職員の人数を比較すると、看護師は国立・公立が100床あた

り77.1人、他開設者100床あたり約83人と比較すると、約6人少ない。医療技術員、事務員及び技能労務員の人数は、医療法人が一番多く、続いて個人・その他の法人、公的・社会保険関係、そして一番少ない国立・公立の順で少なくなっている傾向にある。表3-4-2においては、病床規模が大きくなるにつれ、医師の100床あたりの人数がそれぞれ約2人と微増ながらも、医療技術員、事務員及び技能労務員は逆に減少傾向である。表3-4-4の地域医療支援有無別では、地域医療支援ありの看護師数が100床あたり86.6人、地域医療支援なし78.0人より8.6人多い結果を得た。

### 職員実績集計結果

入力支援ソフトにより提出された2008年7月の常勤及び非常勤職員の実績値を各分類別に集計し、部門別にか月あたりの勤務比率を算出した。図3-5-1から図3-5-4に各分類別の部門別職員勤務比率を示す。

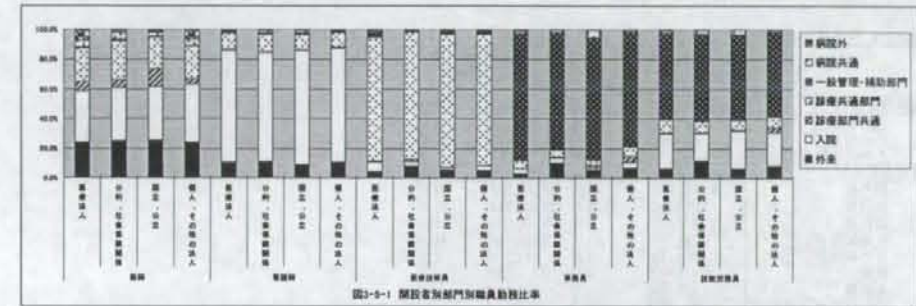


図3-5-1 開設者別部門別職員勤務比率



図3-5-2 病床規模別部門別職員勤務比率



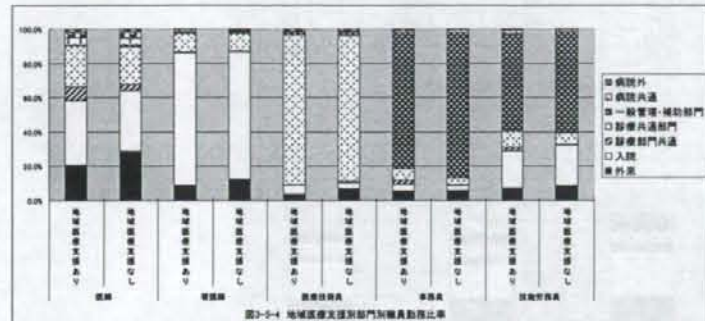
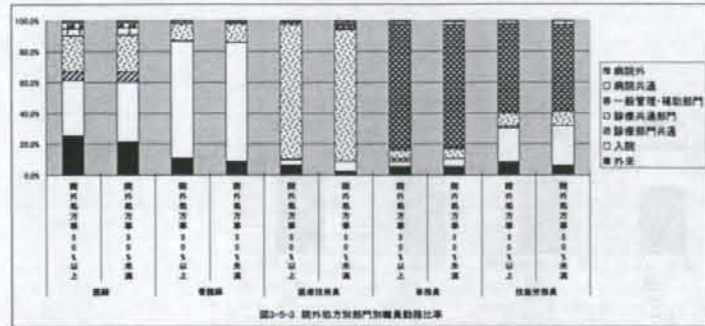


図 3-5-1 開設者別職員勤務比率より、医師の部門別勤務比率のおよそ 70%にあたる診療部門の外来と入院に対する値に各開設者ともほとんど差はなかった。しかし、国立・公立の外来や入院別に把握できない診療部門共通の実績割合は、他の開設者と比較して若干高い傾向にある。他職員に関しては、開設者別にわずかな勤務比率の違いはあるがほとんど変化はなかった。図 3-5-2 病床規模別において、医師の外来勤務比率は病床数が増すごとに低くなり、それに伴い入院に対する勤務比率が高くなっている。また、事務員の部門別勤務比率も同様に、病床数が増すごとに診療共通部門の勤務比率が高くなる傾向にある。

### 病床利用率結果

入力支援ソフトによって提出された 2008 年 7 月の延入院患者数と追加調査票にて提出された許可病床数（延日数換算）を除算することにより病床利用率を算出した。

表3-6-1 開設者別病床利用率(7月)

開設者別	病床利用率	施設数
医療法人	84.7%	37
個人・その他の法人	81.9%	21
公的・社会保険関係	80.8%	20
国立・公立	82.3%	15

病床利用率(%)=延入院患者数×100/許可病床数×31

表3-6-2 病床規模別病床利用率(7月)

病床別	病床利用率	施設数
20-199床	82.2%	9
200-399床	84.4%	35
400床以上	82.0%	49

病床利用率(%)=延入院患者数×100/許可病床数×31

表3-6-3 院外処方別病床利用率(7月)

院外処方別	病床利用率	施設数
院外処方率50%以上	82.7%	73
院外処方率50%未満	82.6%	20

病床利用率(%)=延入院患者数×100/許可病床数×31

表3-6-4 地域医療支援別病床利用率(7月)

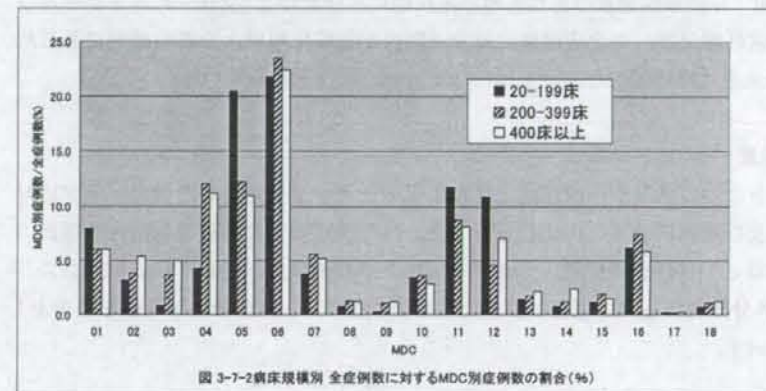
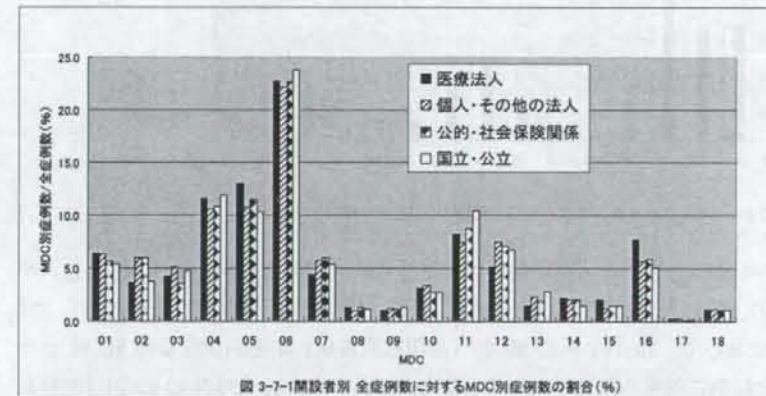
地域医療支援別	病床利用率	施設数
地域医療支援あり	85.8%	37
地域医療支援なし	79.6%	56

病床利用率(%)=延入院患者数×100/許可病床数×31

表 3-6-1 より、医療法人が 84.7%と他開設者の中で一番低い公的・社会保険関係 80.8%と比較すると 3.9%と若干高い利用率があるものの、大きな変化はみられなかった。また、表 3-6-2 から表 3-6-3 も同様にほとんど差はみられなかったが、表 3-6-4 における地域医療支援有無別の病床利用率は地域医療支援ありが 85.8%、地域医療支援なしが 79.6%とその差が 6.2%あり利用率の違いが顕著である。

### MDC 別症例数割合結果

入力支援ソフトより提出されたデータを症例別コストに集計した後、全集計対象症例数に対する各 MDC 別の症例数割合を算出した。各分類別に全症例数に対する MDC 別症例数の割合を図 3-7-1 から図 3-7-4 に示す。





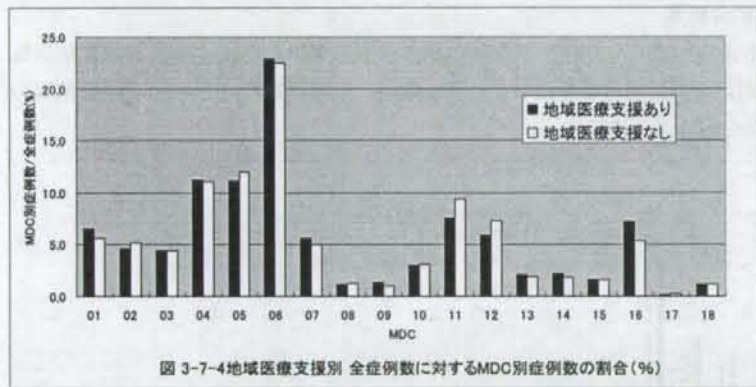
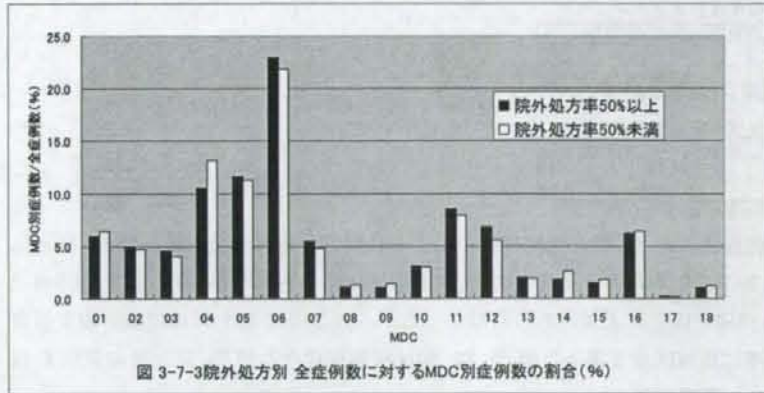
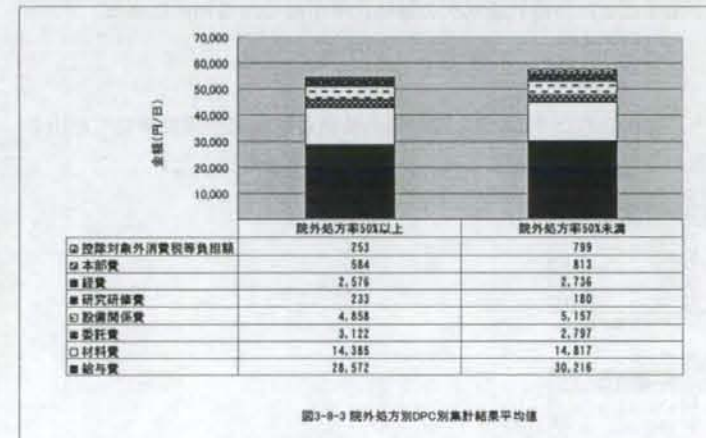
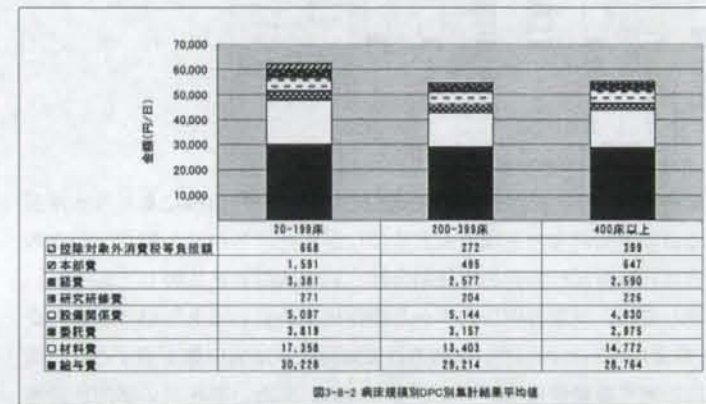
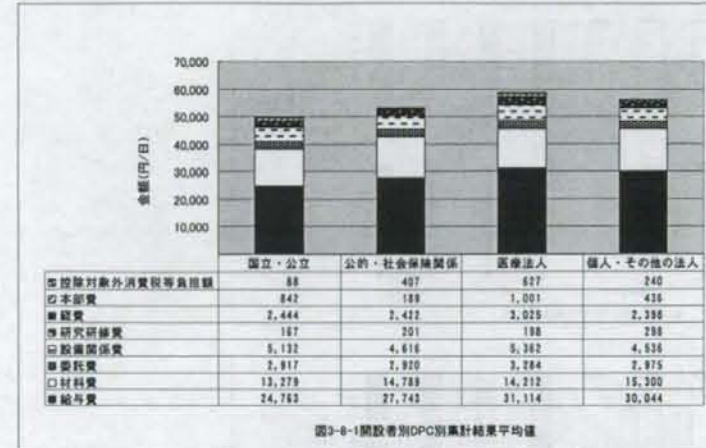


図 3-7-1、図 3-7-3 及び図 3-7-4 の全症例数に対する MDC 別症例数の割合は、若干の違いが生じているものの、特に大きな差はなかった。しかし、図 3-7-2 の病床規模別による MDC 別症例数の割合において、20-199 床の MDC05「循環器系疾患」が他病床規模の MDC05 と比較して 10%以上全症例に対する割合が高いことがわかる。また、20-199 床の MDC01「神経系疾患」、MDC11「腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患」及び MDC12「女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩」の全症例数に対する割合が他病床規模より高い傾向にあるため、20-199 床の施設には特異的な施設が集中していることを示唆している。

#### DPC 別集計結果

入力支援ソフトよりコストデータが提出されエラーチェックを通過した後のデータに対して、原価計算及び症例別コストの集計を行った。給与費は国家公務員平均給与を職員の実績に対して乗算し、材料費は薬価・定価ベースにより算出した。そして、症例別コスト集計を算出後、各分類別にした 1 患者 1 日あたりの DPC 別コスト集計結果平均値を図 3-8-1 から図 3-8-4 に示す。





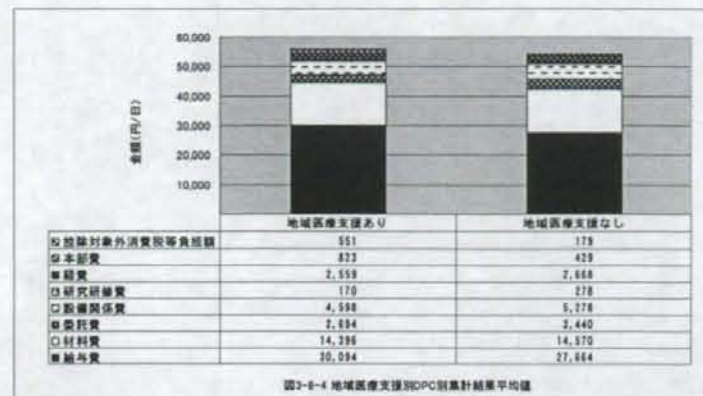


図 3-8-1 より開設者別のコスト全体の金額を比較すると、医療法人が約 59,000 円/日と一番高く、個人・その他の法人、公的・社会保険関係の順にコスト全体の金額が低くなり、一番低い国立・公立は約 50,000 円/日から、医療法人とおよそ 9,000 円/日の差異を生じた。特に医療法人と国立・公立の給与費は、医療法人は約 31,000 円/日に対して国立・公立が約 25,000 円/日と約 6,000 円/日の差を生じている。この両者間で、2 番目に差異があったのは材料費約 1,000 円である。集計では全施設一律に国家公務員平均給与の金額を採用しているため、給与単価以外の影響が考えられる。そこで「3.4 職員数集計結果」の結果より医療法人 100 床あたり 178.2 人に対して、国立・公立 100 床あたり 134.9 人と約 44 人の人数差からの影響が考えられる。また、部門別の勤務比率の観点から「3.5 職員実績集計結果」の結果による影響は、開設者別の部門別職員実績の比率に大きな差はなかったことから入院医療に係る給与費の差は職員数の差そのものに起因する部分が大きいと考えられる。次に図 3-8-2 の病床規模別において、20-199 床のコスト全体の金額は約 62,000 円/日と 200-399 床や 400 床以上のコスト全体の金額約 55,000 円/日より約 7,000 円/日以上高くなっている。これは、「3.7 MDC 別症例数割合結果」より 20-199 床の MDC05 循環器系疾患症例数割合が他病床規模より高いため、1 日あたりのコスト合計平均値の上昇に寄与していると考えられる。その傾向として、20-199 床の材料費は約 17,000 円/日と 200-399 床の材料費約 13,000 円/日から 400 床以上の材料費約 15,000 円/日より約 2,000 円/日高くなっている。



































特定機能病院(私立医科大学病院) DPC H20年度7月入院～10月退院患者についての1日当たりのコスト アウトライヤー処理あり

DPC	名称	症例数	(退院した)入院人数	コスト合計	材料費										減価償却費										研究開発費										法人経費										行政費										その他										総計	平均	標準	最大	最小	標準偏差	最大偏差	最小偏差
					合計		薬品費		検査費		材料費		消耗品費		その他		建物		機械		器具		その他		研究費		人件費		経費		その他		研究費		人件費		経費		その他																																	
					平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準																																
07050001701	全身性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2なし	10	36	54,862	30,569	13,069	12,099	4,864	1,969	3,096	11,776	7,990	6,201	1,261	3,167	321	2,846	414	3,769	3,855	517	196	546	2,637	2,445	777	1,493	114	60	2,152	346	38,997	26,273	6,720	321	37,328	31,793	6,536	4,248	1,888																																
07050001702	女性性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	10	36	63,046	34,416	14,767	13,943	2,625	2,772	12,711	13,199	8,623	6,239	1,663	4,948	500	4,247	467	3,727	3,855	344	188	581	2,208	2,899	1,083	1,872	174	42	2,390	212	40,822	31,879	8,950	358	50,021	41,765	8,256	4,472	1,716																																
07050001703	女性性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2なし	10	36	63,046	34,416	14,767	13,943	2,625	2,772	12,711	13,199	8,623	6,239	1,663	4,948	500	4,247	467	3,727	3,855	344	188	581	2,208	2,899	1,083	1,872	174	42	2,390	212	40,822	31,879	8,950	358	50,021	41,765	8,256	4,472	1,716																																
07050001704	女性性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	712	719	51,889	31,058	12,048	11,028	2,487	2,392	13,731	13,832	8,571	5,960	1,011	3,262	169	3,196	449	3,472	3,825	431	184	609	2,461	2,461	1,047	1,578	38	31	2,816	1,983	109,345	44,929	56,676	8,506	109,463	53,716	55,747	3,660	1,898																																
07050001705	女性性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	12	37	58,627	31,635	12,048	11,028	2,487	2,392	13,731	13,832	8,571	5,960	1,011	3,262	169	3,196	449	3,472	3,825	431	184	609	2,461	2,461	1,047	1,578	38	31	2,816	1,983	109,345	44,929	56,676	8,506	109,463	53,716	55,747	3,660	1,898																																
07050001706	女性性膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	6	43	67,196	32,762	15,999	12,351	2,345	2,345	14,817	16,988	10,938	12,320	1,222	3,004	618	2,720	2,209	301	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																															
07050001707	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	118	118	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001708	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	39	151	60,079	30,890	15,799	14,556	1,871	1,871	16,500	16,500	10,611	8,050	1,560	2,848	289	2,724	152	2,990	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000																													
07050001709	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	49	160	62,494	30,992	16,582	14,651	1,747	2,055	14,807	15,402	9,966	7,459	1,497	3,006	249	2,825	447	4,220	3,906	129	168	488	2,242	2,272	1,089	1,874	82	48	1,907	880	53,072	49,304	3,768	1,559	53,000	48,344	4,656	1,656	1,832																																
07050001710	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2なし	10	37	62,494	30,992	16,582	14,651	1,747	2,055	14,807	15,402	9,966	7,459	1,497	3,006	249	2,825	447	4,220	3,906	129	168	488	2,242	2,272	1,089	1,874	82	48	1,907	880	53,072	49,304	3,768	1,559	53,000	48,344	4,656	1,656	1,832																																
07050001711	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001712	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001713	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001714	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001715	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001716	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001717	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001718	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001719	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001720	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001721	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001722	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001723	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001724	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238	1,110	2,811	3,151	1,089	3,501	23	1	2,606	411	43,820	39,893	3,927	370	54,480	47,088	7,392	4,580	1,950																																
07050001725	膿瘍(非手術)自己免疫性疾患 手術あり 手術-処置費2あり	16	117	63,293	32,861	12,186	11,494	2,581	2,490	14,817	15,436	9,438	6,749	1,212	3,176	261	3,004	415	4,505	4,254	197	238																																																		



